

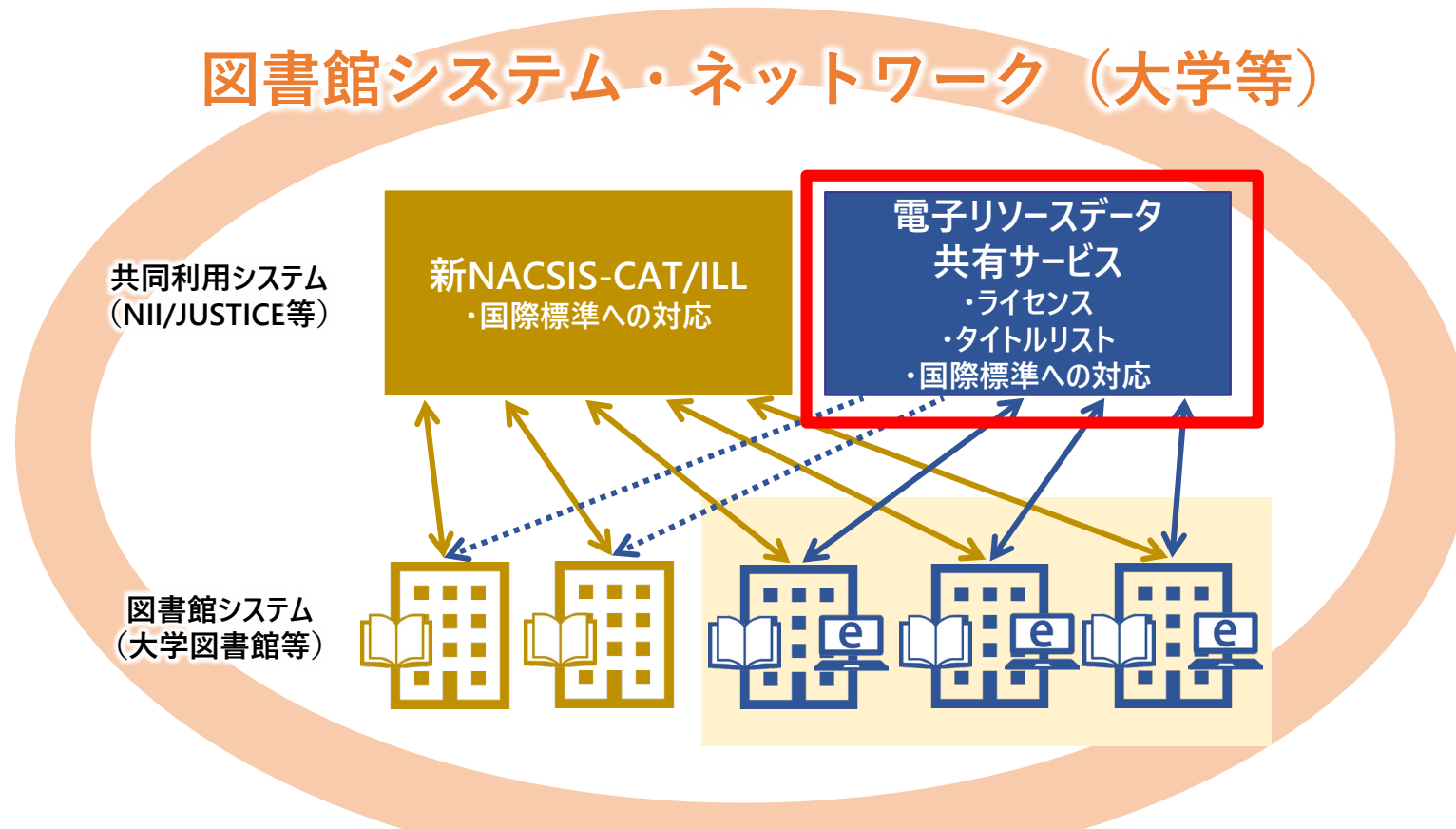


# 電子リソースデータ共有サービスの 現在の状況



国立情報学研究所  
学術基盤推進部学術コンテンツ課学術コンテンツ整備チーム  
三村 千明

## 図書館システム・ネットワーク（大学等）



印刷体に対応したシステム

電子リソースと印刷体に対応したシステム

将来の共同調達・運用が検討されている領域

データ連携 (CATP)

ダウンロード利用等

相互のデータ連携等

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw>

電子リソースデータ共有サービスとは

サービスの詳細

デモ：ライセンス（JUSTICE）APIによる参照

フィードバックのお願い



「電子リソースデータ共有サービス」とは、

電子リソースの**タイトルリスト**と**ライセンス**情報を共有し、  
図書館での電子リソース管理業務の利便性を高めるサービス。

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources>



**(課題) 現在の電子リソースは、  
出版社ごとにメタデータ・利用条件の  
確認方法やデータ形式が異なる**

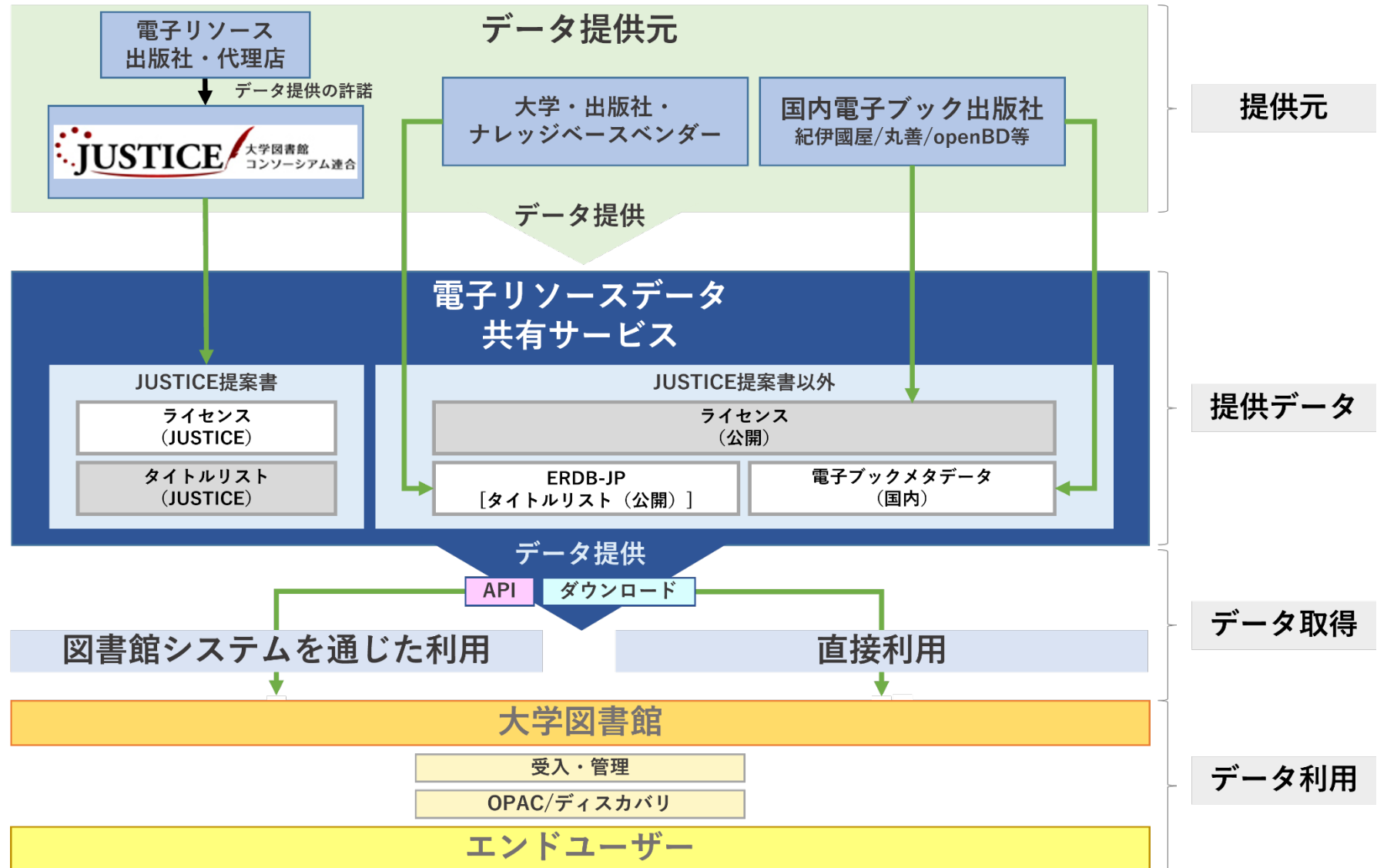
→複数出版社との契約がある場合、  
データ取得や整理の作業が複雑



**一か所から同一形式の  
テキストデータで取得可能に**

→利用者に使ってもらうための案内や、  
図書館内部での管理がしやすくなる

# 電子リソースデータ共有サービスとは



※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

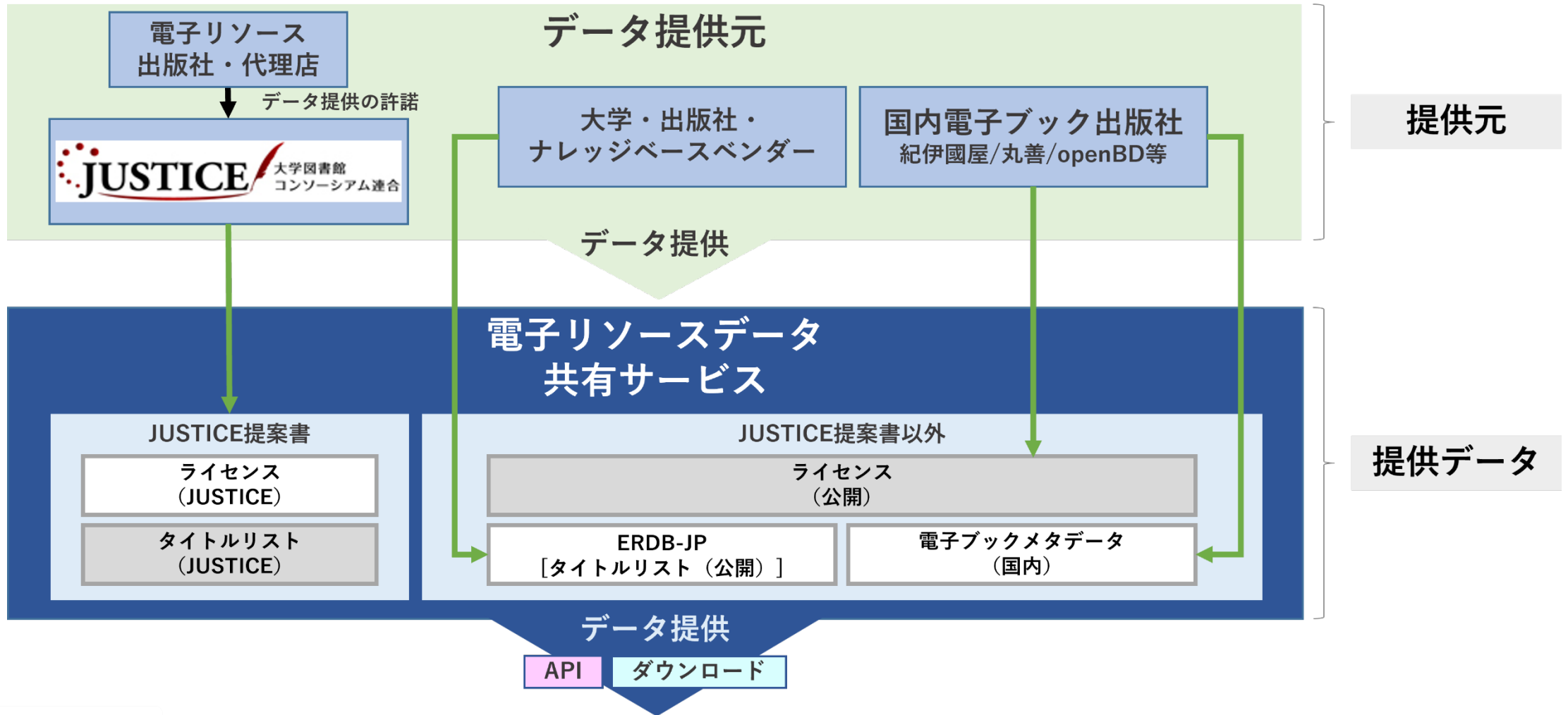
電子リソースデータ共有サービスとは

サービスの詳細

デモ：ライセンス（JUSTICE）APIによる参照

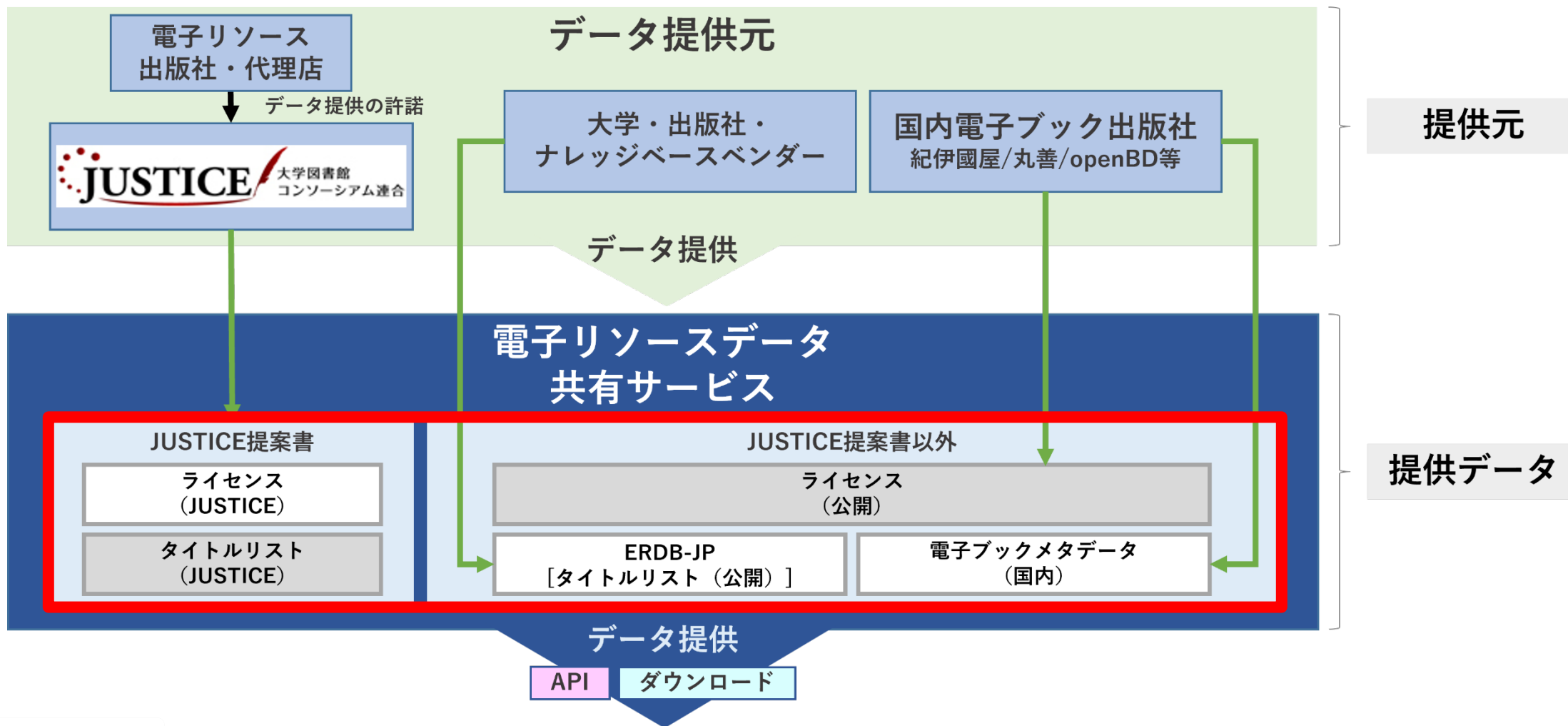
フィードバックのお願い



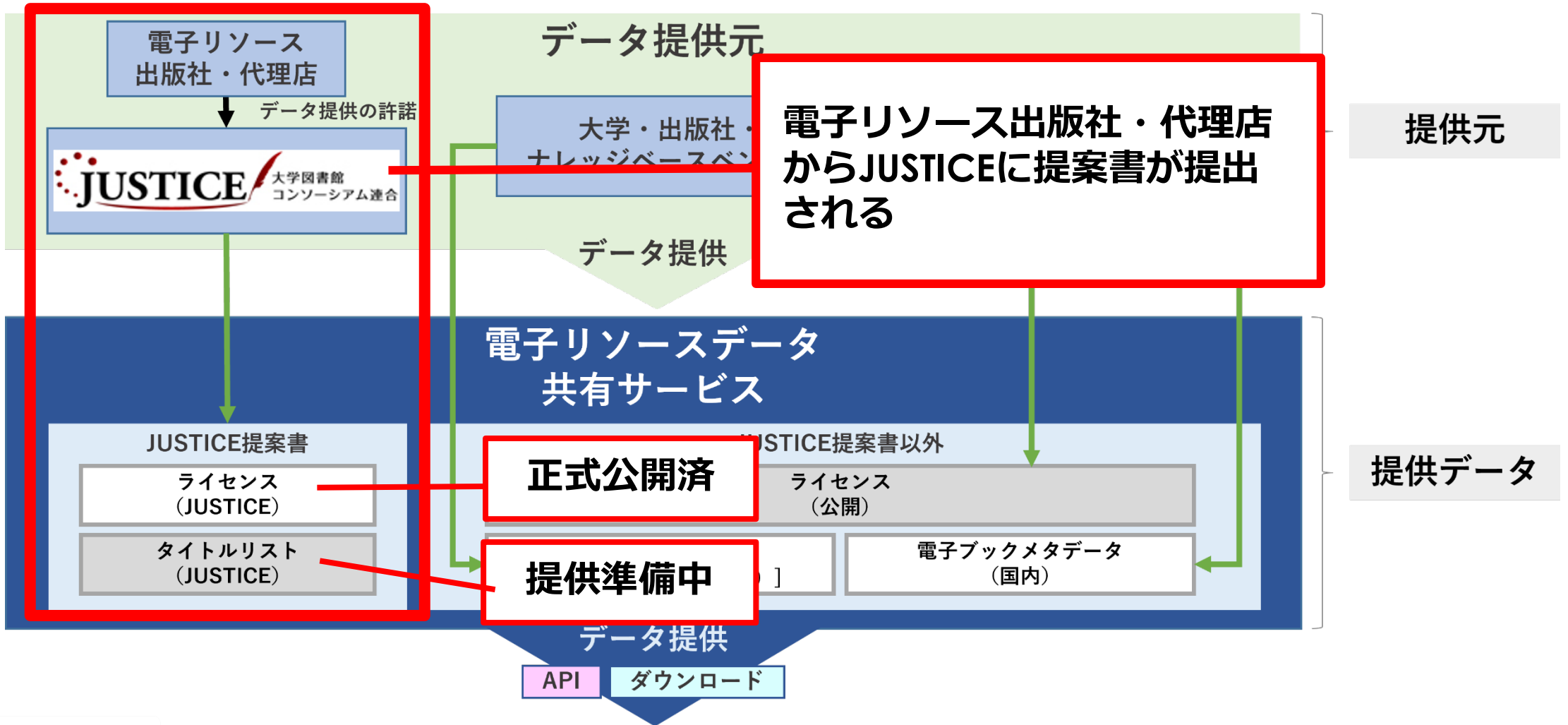


※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

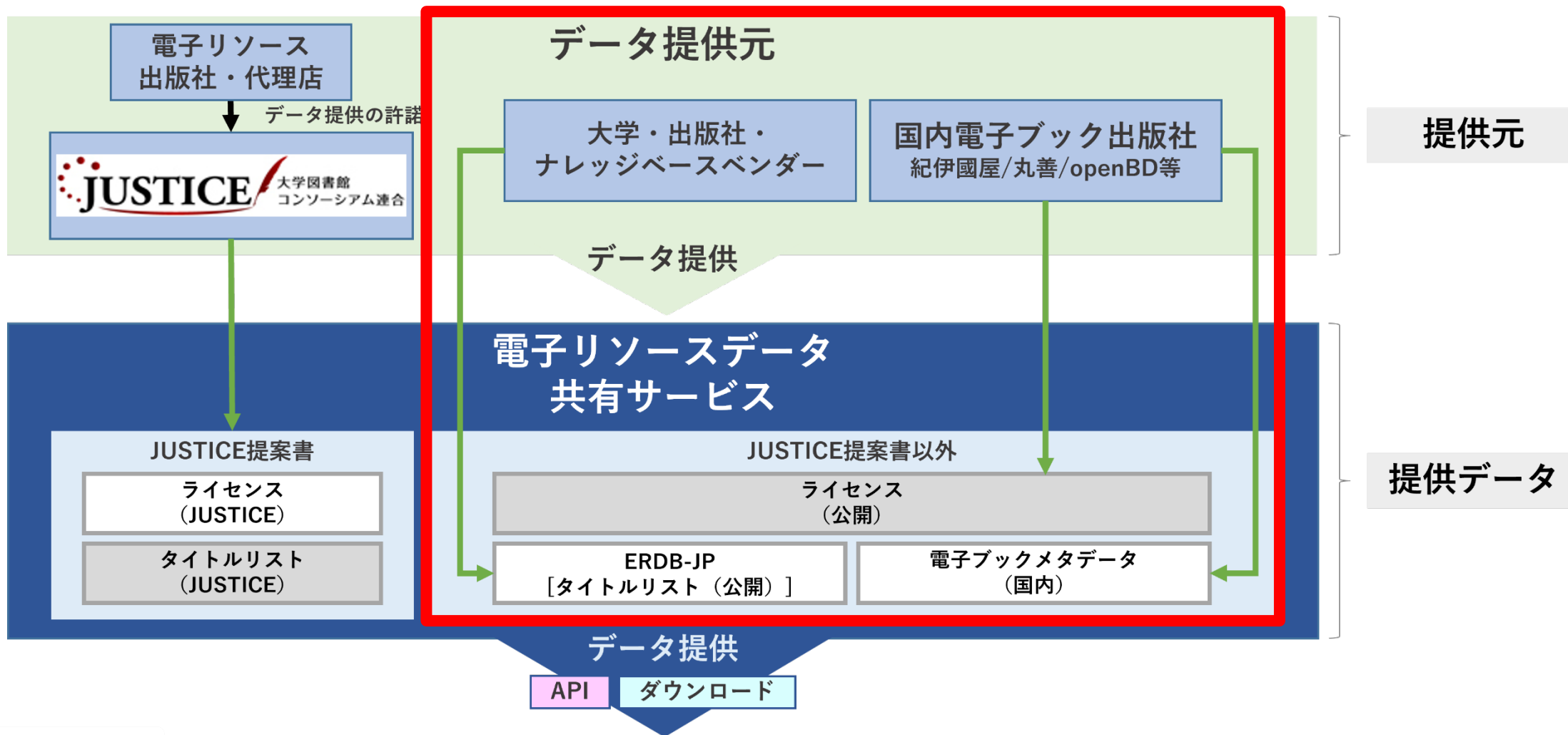




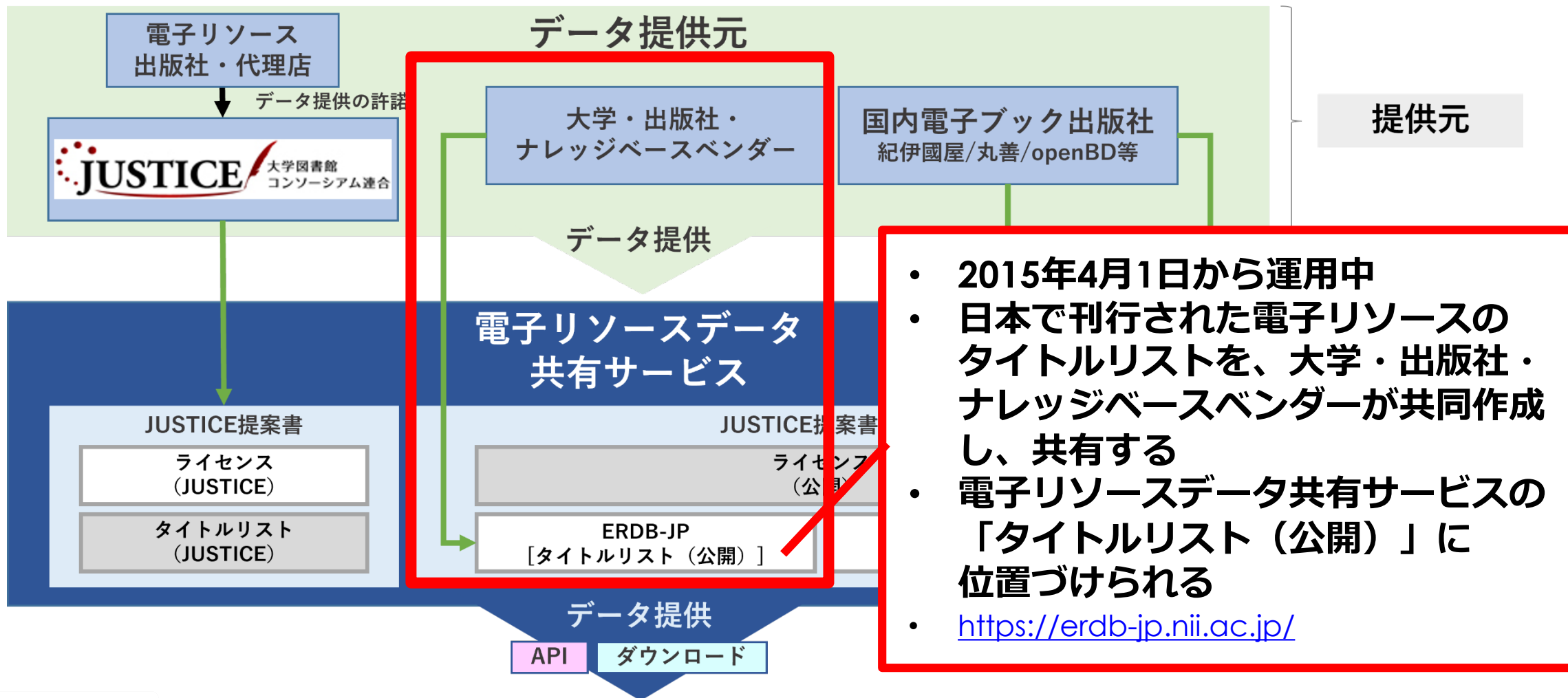
※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中



※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

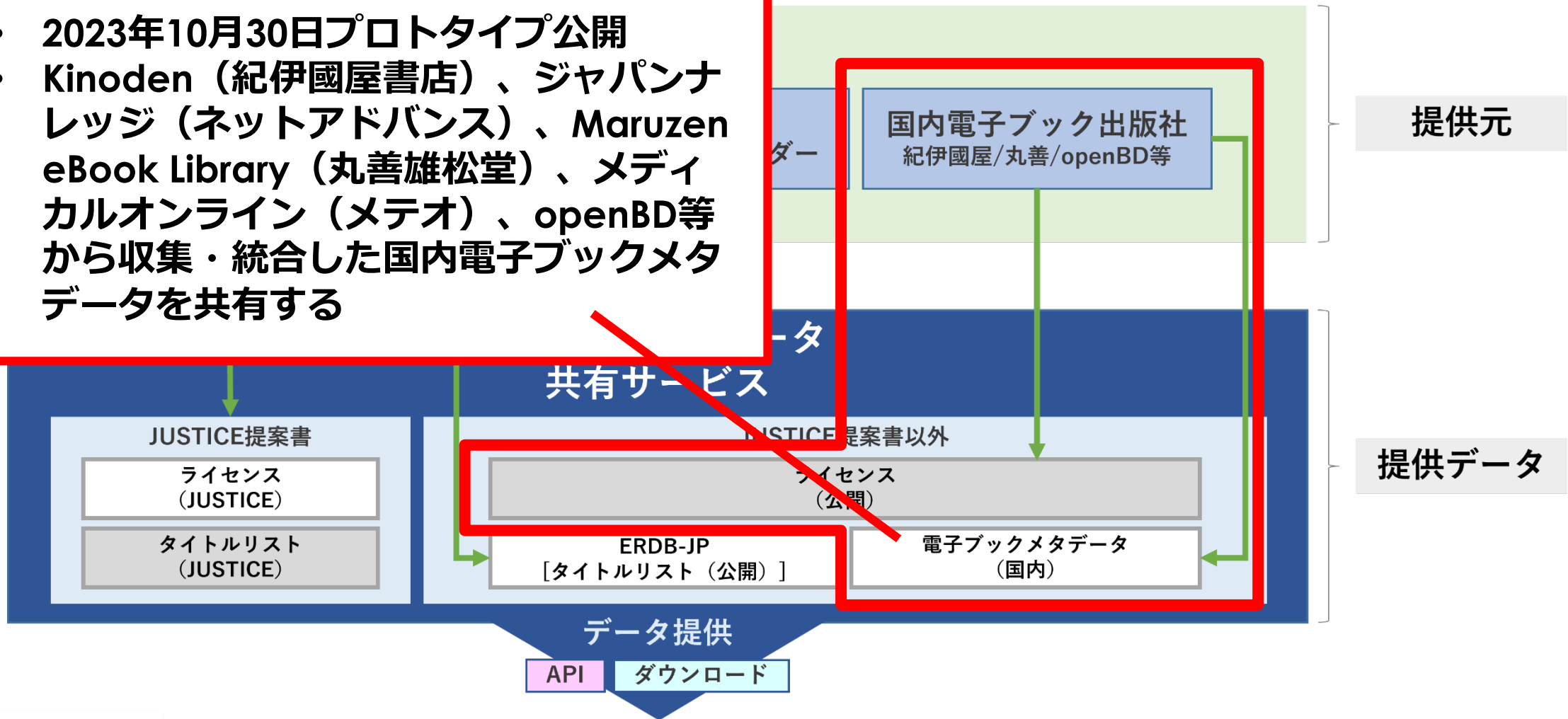


※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

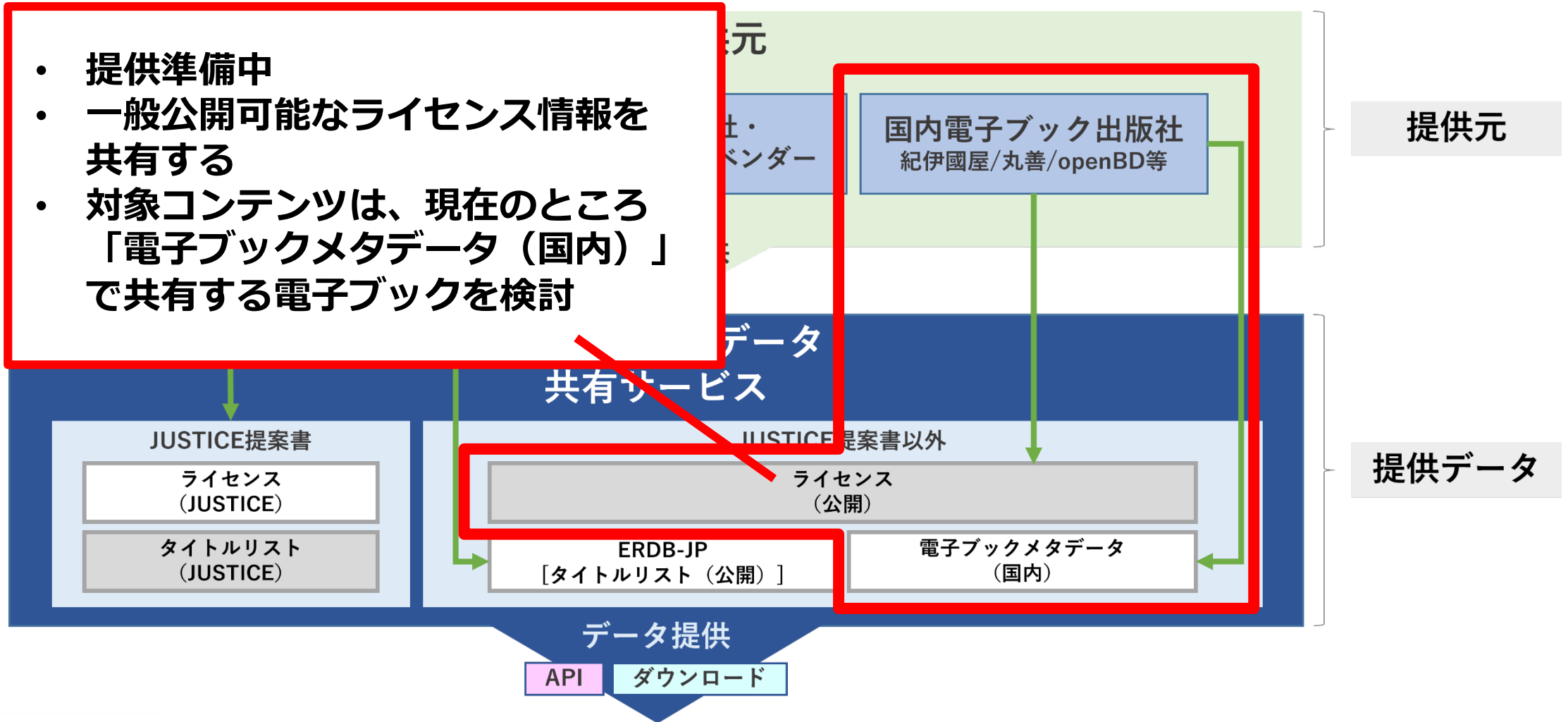


※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

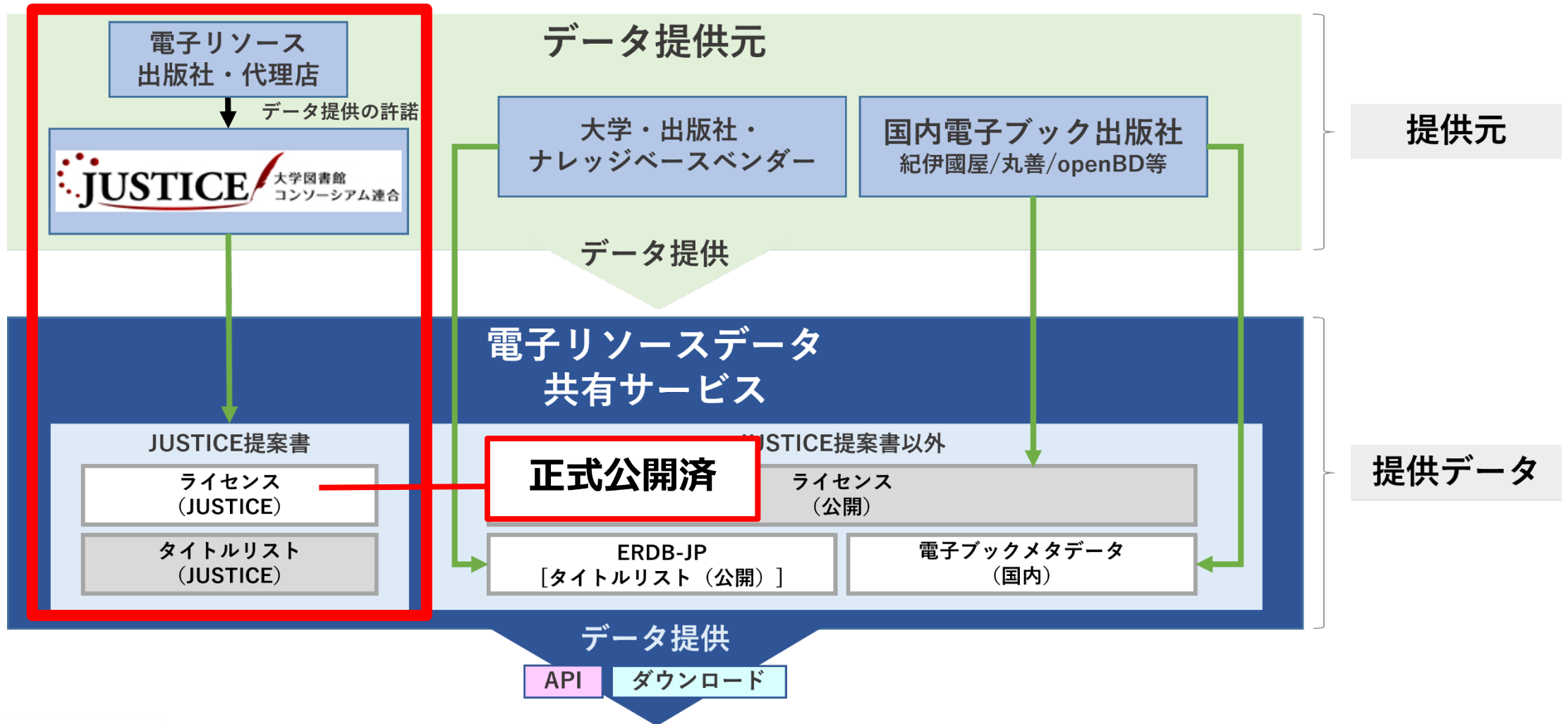
- 2023年10月30日プロトタイプ公開
- Kinoden（紀伊國屋書店）、ジャパンナレッジ（ネットアドバンス）、Maruzen eBook Library（丸善雄松堂）、メディカルオンライン（メテオ）、openBD等から収集・統合した国内電子ブックメタデータを共有する



※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中



※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中



※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

## JUSTICE提案書の内容のうち一部をタブ区切りテキストで提供

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/licenses-justice>

- 公開範囲：**JUSTICE会員館限定**
- データ提供方法：ダウンロードサービス・APIによる参照



- 2022年12月26日 (月) 正式公開  
現在、2022年度/2023年契約向け提案82件を公開中  
2023年度冬、2023年度/2024年契約向け提案を公開予定



## ライセンス (JUSTICE) の特徴

- **提案書1件に対し、ライセンスデータ1件**
  - ただし、1提案に購読/買切が両方ある場合は別データとなります。
- **項目と値が1対1のテキストデータ**
- **OPAC等での利用者への公開可否が、項目ごとに明記される**
  - ※公開可否の判断は出版社・代理店によるものとなります。

### ◆ライセンス項目の一部

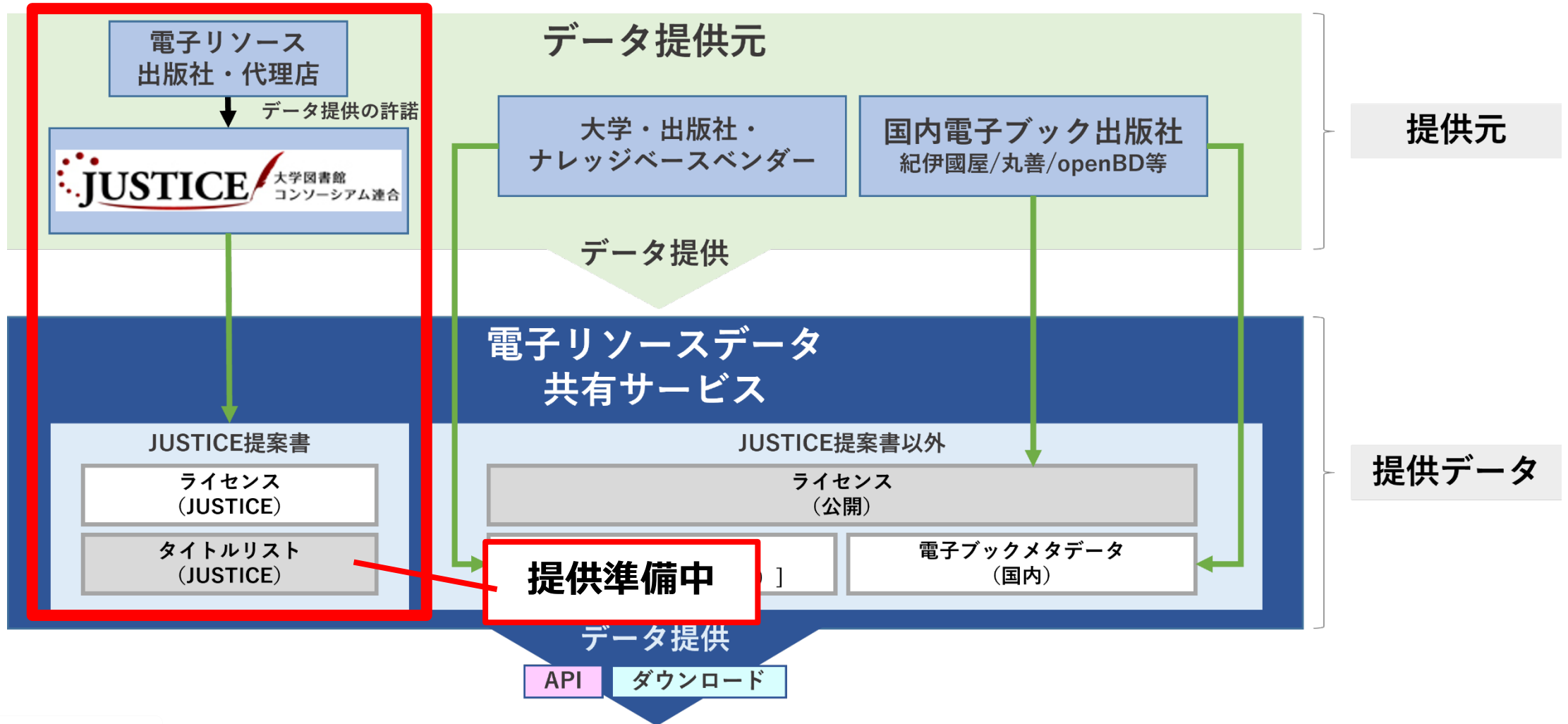
ウォークインユーザー	Yes/No
ウォークインユーザー 公開可否	公開/非公開

## ライセンス (JUSTICE) 項目一覧

2022年12月

ライセンスコード	ライセンスラベル	回答タイプ	補足説明
Target Year	Target Year	YYYY/ YYYY-YYYY	ライセンスの対象となる年を定義します。
DESCRIPTION	Description	自由記述	ライセンスに更新があった場合等に更新情報を記入する項目です。
DESCRIPTIONPUB	Description 公開可否	公開/非公開	<p>会員館の利用者への公開可否を定義します。</p> <p>公開可否が「公開」のライセンス項目のみ、会員館の利用者への公開が可能です。</p> <p>「非公開」項目を利用者に公開しないよう十分にお気を付けてください。</p> <p>以下、「公開可否」の項目は同様です。</p>
CONTRACTFORM	契約形態	購読/買切	
CONTRACTFORMPUB	契約形態 公開可否	公開/非公開	
INQUIRY	問い合わせ先	自由記述	
INQUIRYPUB	問い合わせ先 公開可否	公開/非公開	
PUBINFO	会員館の利用者へ公開可能な項目に関する連絡事項	自由記述	
PUBINFOPUB	会員館の利用者へ公開可能な項目に関する連絡事項 公開可否	公開/非公開	
OTHERINFO	その他連絡事項	自由記述	
OTHERINFOPUB	その他連絡事項 公開可否	公開/非公開	
GTITLELURL	グローバルタイトルリスト掲載URL	自由記述	

[https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-12/erds\\_license\\_terms.pdf](https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-12/erds_license_terms.pdf)



※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

## JUSTICE提案のタイトルリストをKBART II形式で提供

- **公開範囲** : JUSTICE会員館以外にも公開を前提に検討中
- **データ提供方法** : ダウンロードサービス (予定)
  - 今後、商用ナレッジベース等にも流通させ、リンクリゾルバ等から利用することを想定



- **2023年度冬頃 サービスをテスト公開予定**

## タイトルリスト (JUSTICE) の特徴

- ライセンス1件に対し、タイトルリスト1～複数件
- 対応するライセンスとタイトルリストは、同一の識別子が与えられる
  - (例) Publisher\_PackageAAA\_2024
- タイトルリストは、JUSTICE会員館以外でも自由に利用可能

## • KBART (Knowledge Bases and Related Tools) :

- イギリスのUKSGとアメリカのNISOの共同プロジェクトで制定された, 電子リソースのメタデータ交換のための推奨指針
- KBART II (NISO KBART Phase II)

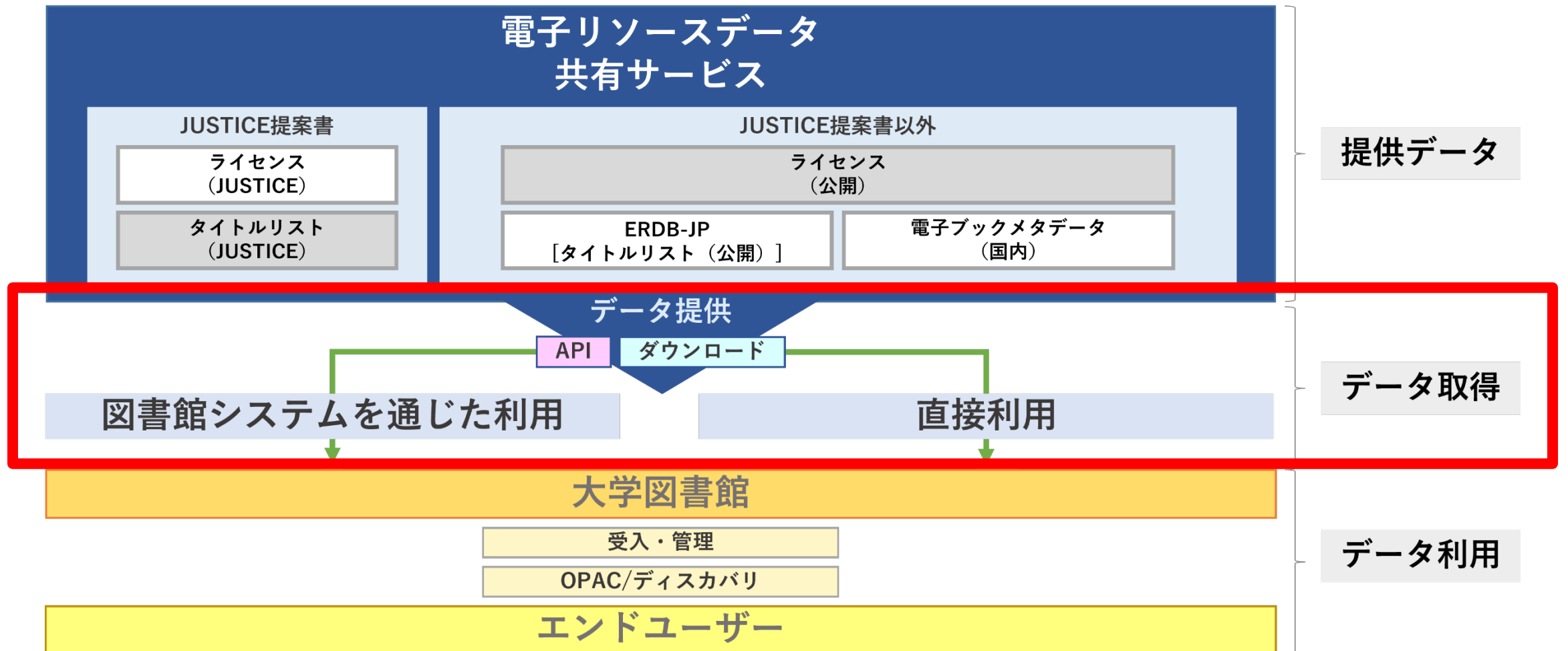
<https://www.niso.org/publications/rp-9-2014-kbart>

### ◆KBART2形式の項目の一部

タイトル (publication_title)
第一著者 (first_author)
タイトルレベルURL (title_url)
プリント版ISSN / プリント版ISBN (print_identifier)
eISSN / eISBN (online_identifier)
...

(日本語参考資料) 「ERDB-JPデータ作成ガイドライン」※参考の際は拡張項目を除いてご確認ください

[https://erdb-jp.nii.ac.jp/ja/content/metadata\\_schema](https://erdb-jp.nii.ac.jp/ja/content/metadata_schema)



※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

## • ダウンロードサービス

- サイトをブラウザ／検索し、必要な情報を選んで、テキスト形式でダウンロードする。  
<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/licenses-justice/downloads>
- ライセンス（JUSTICE）：申請不要で利用可能（JUSTICE会員館限定）
- タイトルリスト（JUSTICE）：2023年度冬頃、テスト公開予定

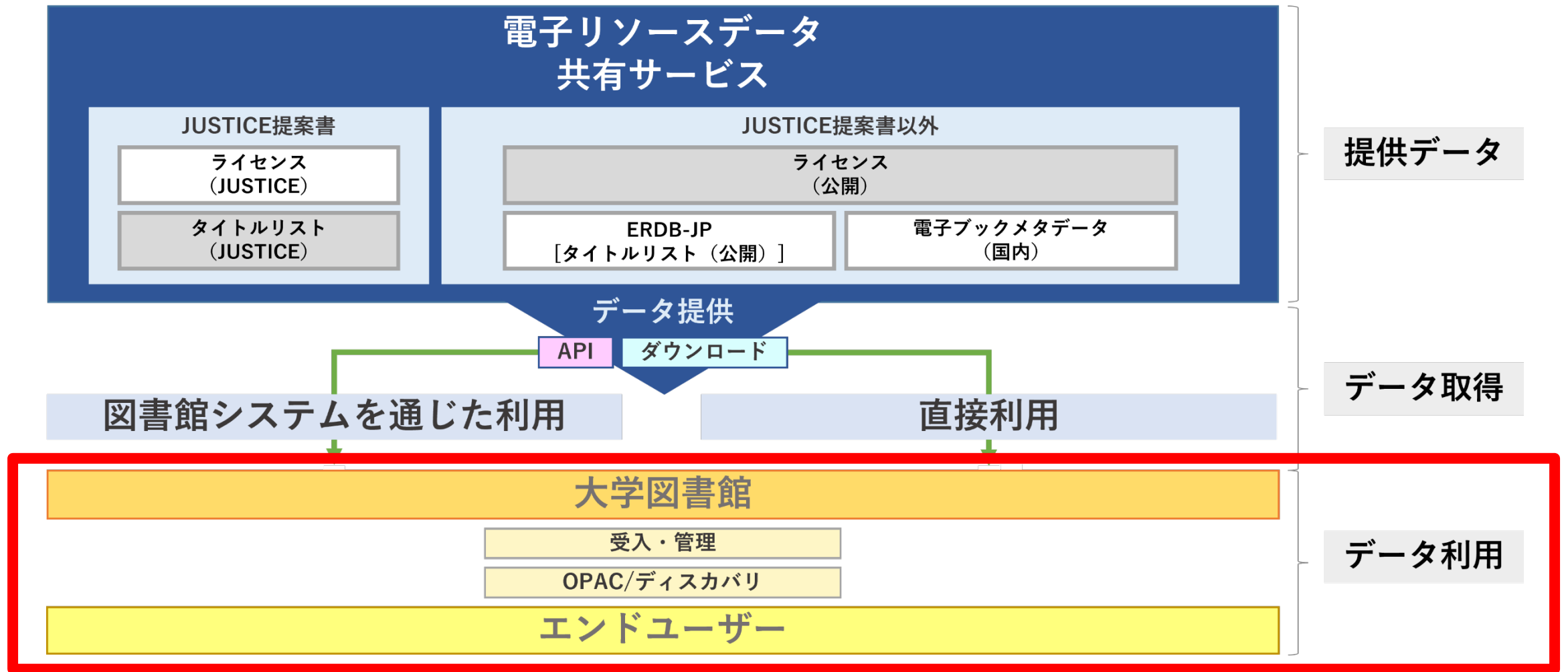
## • APIによる参照

- システム的に自動でデータを取得する。  
<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/licenses-justice/api>
- ライセンス（JUSTICE）：事前に利用申請が必要（JUSTICE会員館限定）

## 電子リソースデータ共有サービス対応メーカー一覧

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/library-systems>





※グレーのサービスは2023年10月現在運用準備中

The National geographic magazine.  
National Geographic Society (U.S.); Jay I. Kislak Collection (Library of Congress)  
©1959.

トップ  
エクスポート  
内容を検索する  
オンラインで見...  
資料入手方法  
詳細  
関連資料  
リンク

エクスポート

REFWORKS ENDNOTE RIS 印刷 固定リンク E-MAIL

内容を検索する  
この雑誌に含まれる論文・記事を探す

論文・記事のタイトルまたはキーワードを入力 🔍

オンラインで見る

フルテキストの有無

National Geographic Magazine 利用可 所蔵範囲 1888 ~ 1959.	☑
---	---

関連タイトルのサービス

National geographic. (継続後誌) Academic Search Complete 利用可 所蔵範囲 1995/01/01. 最新3ヶ月 利用不可.	利用条件を表示 ☑
National geographic. (継続後誌) National Geographic Magazine 利用可 所蔵範囲 1995.	利用条件を表示 ☑

【佛教大学図書館の例】  
ディスカバリーサービスの  
電子リソースごとに  
「**利用条件を表示**」  
というリンクを表示

利用条件を表示 ☑

利用条件を表示 ☑

利用条件を表示 ☑

利用条件を表示 ☑

National geographic. (継続後誌)

Academic Search Complete

利用可 所蔵範囲 1995/01/01.

最新3ヶ月 利用不可.

### ライセンス条項


承認ユーザ定義: 大学に所属する教職員・学生（院生含む）

その他のユーザ制限注記: N/A

同時利用ユーザ: 同時アクセス数別の表記があるデータベース以外は、同時アクセス数無制限

同時利用ユーザ注記: N/A

ウォークインユーザ注記: N/A

利用条件を隠す 

クリックすると、  
ライセンス情報が表示される

出版社が「公開可」とした項目のうち、  
各館が「利用者に知ってほしい」と  
判断した情報のみを開示する形

National geographic. (継続後誌)

National Geographic Magazine

利用可 所蔵範囲 1995.

### ライセンス条項

承認ユーザ定義: 図書館が利用を認める利用者

その他のユーザ制限注記: N/A

同時利用ユーザ: 無制限

同時利用ユーザ注記: N/A

ウォークインユーザ注記: 図書館が利用を認める利用者であれば可能

利用条件を隠す 



電子リソースデータ共有サービスとは

サービスの詳細

デモ：ライセンス（JUSTICE）APIによる参照

フィードバックのお願い



This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
<licenses total_record_count="27">
  <license link="https://api-ap.hosted.exlibrisgroup.com/almaws/v1/acq/licenses/AAA_パッケージAAA_2023">
    <code>AAA_パッケージAAA_2023</code>
    <name>パッケージAAA</name>
    <type desc="License">LICENSE</type>
    <status desc="Active">ACTIVE</status>
    <licensor desc="AAAベンダー">AAA</licensor>
    <start_date>2023-01-01Z</start_date>
    <end_date>2023-12-31Z</end_date>
    <review_status desc="Accepted">ACCEPTED</review_status>
    <creation_date>2023-02-01Z</creation_date>
    <modification_date>2023-03-08Z</modification_date>
  </license>
  <license link="https://api-ap.hosted.exlibrisgroup.com/almaws/v1/acq/licenses/BBB_パッケージBBB_2023">
    <code>BBB_パッケージBBB_2023</code>
    <name>パッケージBBB</name>
    <type desc="License">LICENSE</type>
    <status desc="Active">ACTIVE</status>
    <licensor desc="BBBベンダー">BBB</licensor>
    <start_date>2022-08-02Z</start_date>
    <review_status desc="Accepted">ACCEPTED</review_status>
    <creation_date>2023-02-02Z</creation_date>
    <modification_date>2023-05-02Z</modification_date>
  </license>
  <license link="https://api-ap.hosted.exlibrisgroup.com/almaws/v1/acq/licenses/CCC_パッケージCCC1_2021-2023">
    <code>CCC_パッケージCCC1_2021-2023</code>
    <name>パッケージCCC1</name>
    <type desc="License">LICENSE</type>
    <status desc="Active">ACTIVE</status>
    <licensor desc="CCCベンダー">CCC</licensor>
    <start_date>2023-01-01Z</start_date>
    <end_date>2023-12-31Z</end_date>
    <review_status desc="Accepted">ACCEPTED</review_status>
    <creation_date>2023-02-02Z</creation_date>
    <modification_date>2023-05-02Z</modification_date>
  </license>

```

ライセンス一覧を取得し、  
必要なライセンスの識別子を確認する

参考：<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/licenses-justice/api#section-3>

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
▼<license link="https://api-ap.hosted.exlibrisgroup.com/almaaws/v1/acq/licenses/AAA/パッケージAAA_2023">
  <code>AAA_パッケージAAA_2023</code>
  <name>パッケージAAA</name>
  <type desc="ライセンス">LICENSE</type>
  <status desc="有効">ACTIVE</status>
  <licensor desc="AAAベンダー">AAA</licensor>
  <signed_by/>
  <second_party_signed_by/>
  <start_date>2023-01-01Z</start_date>
  <end_date>2023-12-31Z</end_date>
  <location desc="財務部">L1</location>
  <review_status desc="許可しました">ACCEPTED</review_status>
  <uri/>
  <licensing_agent/>
  ▼<terms>
    ▼<term>
      <code desc="YEAR">YEAR</code>
      <value desc="2023">2023</value>
    </term>
    ▼<term>
      <code desc="契約形態">CONTRACTFORM</code>
      <value desc="購読">購読</value>
    </term>
    ▼<term>
      <code desc="契約形態 公開可否">CONTRACTFORMPUB</code>
      <value desc="非公開">非公開</value>
    </term>
    ▼<term>
      <code desc="問い合わせ先">INQUIRY</code>
      <value desc="AAA AAA@AAA.com">AAA AAA@AAA.com</value>
    </term>
    ▼<term>
      <code desc="問い合わせ先 公開可否">INQUIRYPUB</code>
      <value desc="非公開">非公開</value>
    </term>
  </terms>
</license>
```

識別子をもとに、  
個別ライセンスの内容を取得する

参考：<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/licenses-justice/api#section-4>

電子リソースデータ共有サービスとは

サービスの詳細

デモ：ライセンス（JUSTICE）APIによる参照

フィードバックのお願い



**みなさまの声を反映したシステム作りを行っています。**

- **ライセンスは「購読」か「買切」かが判別できると良い。**
  - 2023年向け提案では、「購読」または「買切」が選択できる項目を追加しました。
- **ライセンスの項目に提案書の項番等の番号があると良い。**
  - システム上の制限で、残念ながらテキストデータへ項番の追加ができませんでした。その代わりに、すべてのライセンスが入った全体版のExcelファイルに、提案書の項番を追加しました。
- **タイトルリストは、出版社サイトで公開されているものも含めたすべてのパッケージが、一つのサービス内、同一の形式で揃っていることが望ましい。**
  - 当初は出版社側で公開されているものは対象外とする想定でしたが、できる限り多くのタイトルリストを公開できるよう、対応可能な範囲を調整中です。

--2021年度JUSTICE会員館実証実験でいただいた意見と対応例



## 各大学の様々な管理方法から、電子リソースデータ共有サービスで、

- どういった機能が必要か
- どのようなデータ項目やデータ種別が必要か
- どのような活用方法が考えられるか など

ぜひご意見をお寄せください。

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/feedback>

(JUSTICE)	<h3>フィードバックのアクセス先</h3> <p>フィードバックは、以下へお寄せいただければと存じます。 ※組織としてお取りまとめいただいても、個人としてお寄せいただいても構いません。</p>
▶ FAQ	
▶ お問い合わせ	
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"><b>フィードバックフォーム</b></div>